

図書館コンペ作品

〇テーマ

私たちと共に生きる図書館

〇コロナ対策について

- ・マスクの着用義務化
- ・入口にサーモグラフィーカメラ設置
- ・外に手洗いコーナーの設置
- ・消毒液設置
- ・24時間換気システム
- ・アプリを作成し、利用者の健康管理
- ・スマホ等で事前予約システム（人数制限）を行う

〇置いてあったらうれしい本

城、山、歴史、地理、ICT機器関連、アニメ関連、旅行関連、スポーツの本、童話、昔話、電子図書、仕事関係の本、

〇あったらうれしいコーナー

ヘッドフォンなどで音楽を聴けるコーナー、DVD見放題コーナー、軽食を食べられるコーナー、カフェコーナー、体を動かせるコーナー、マッサージ機が利用できるコーナー、きッズスペースコーナー、占いができるコーナー、親子ふれあいコーナー

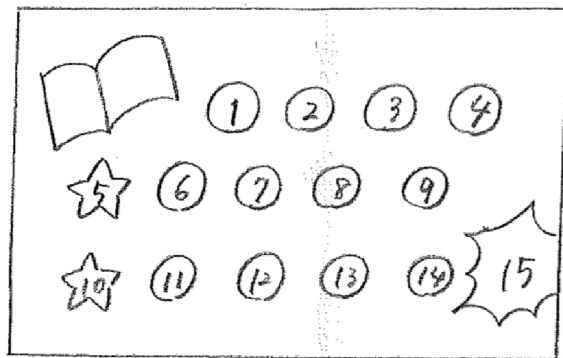
〇外観や内観の希望

- ・お菓子をモチーフにした壁や窓
- ・絵本の世界をモチーフにしたつくり
- ・四季を感じられるつくり
- ・ピラミッドのような外観
- ・プロジェクションマッピングができるつくり

• タイトル •

利用した分だけ得する図書館

• 詳細説明 •



← こんな感じで(回の利用につき
1ポイントで、ポイントとためてい
カード

15ポイントすべてあたら
オリジナルの本やおりが
文房具 などがプレゼントする

• コロナ対策として •

図書館に長居する事でリスクも高まるため
図書館の人と利用者が連絡する事ができ
きる機能を新しく作って、本の予約ができる
ようになるといいと思う。

↓

1. 利用者からほしい本を図書館の人に連絡
2. 必要な本を準備する
3. 利用者から受け取る

誰でも簡単利用!

次世代の新図書館

○ 幅広い年代が使えるように

・ 託児所の設置

近年 大人から子供まで使われている図書館
また子供を1人で家において行くのは難しい時代
そこで託児所を設置して子供の目を気にせず
集中することができると思う

・ 子供専用ポイントカード

主に小学校低学年に使用する
もっと図書館を身近なものと感じるために発行

○ その他

・ 駅と図書館を繋ぐような工夫をつくる

駅に行ったついでに立ち寄れるようにする

・ 人員削減のため無人コンビニの仕組みを利用

柵付近や出入口のセンサーで貸出可能に

○ コロナ対策について

・ ドライブスルー方式

借りた本が決まっている場合、スマホで事前予約をする
として館内に入らずに外で貸し借りをする

・ 配送サービス

家から出る人が少なくなったはず
そこで家まで配達してもらえるようなサービスを始め
たくさんの人との接触を防ぐ

・ 個室スペースの増加

1人で居ることのできるスペースを増やし
集中できる環境をつくる

・ エコパックの持参

本と触れることでの接触を減らす
返却袋をつくり、本にあまり触れずに貸し出しができる

ふじろっく

静岡県立中央図書館新築計画案

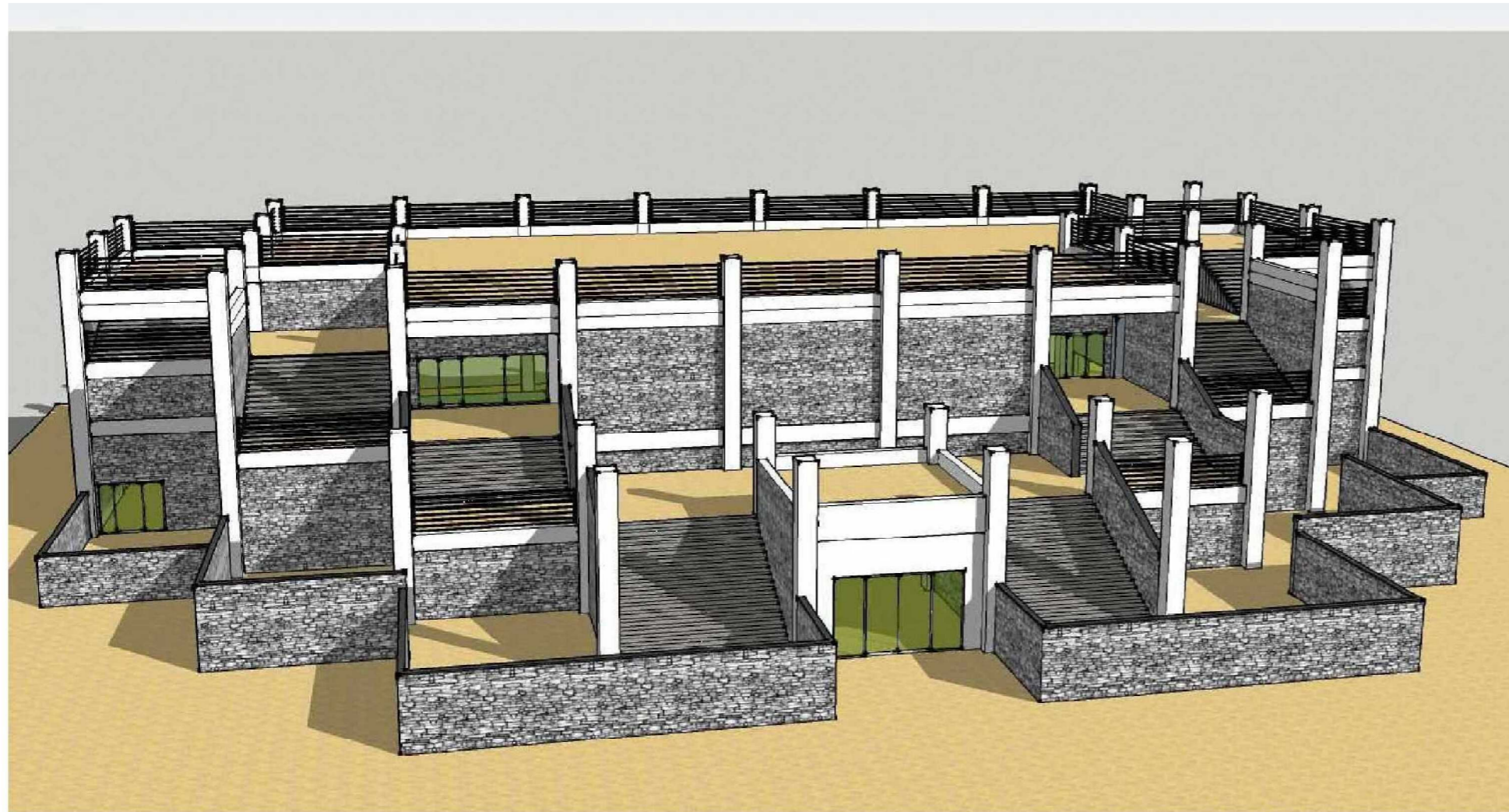
静岡で暮らす人々が安心して、落ち着くことができる図書館とはどんなものだろうか。

衛生面での安心感

現在直面している新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの衛生面への意識を大きく変えた。みんなで共有することに抵抗意識が芽生え、公共の図書館には緊張感が漂うようになってしまった。図書館において、誰が触れたのか分からないものに触れることへの恐怖はあってはならない。そこで本設計には、エチケットエリアを設け、入館後に導かれるように手を洗うことができる清潔な空間を目指した。「誰が触っても大丈夫」という安心感は、これからの図書館には必要不可欠である。また、エチケットエリアには、新型コロナウイルスの感染拡大が収束した後も、1冊の本を大事に扱ってほしいという思いが込められている。

地域の特性を活かす

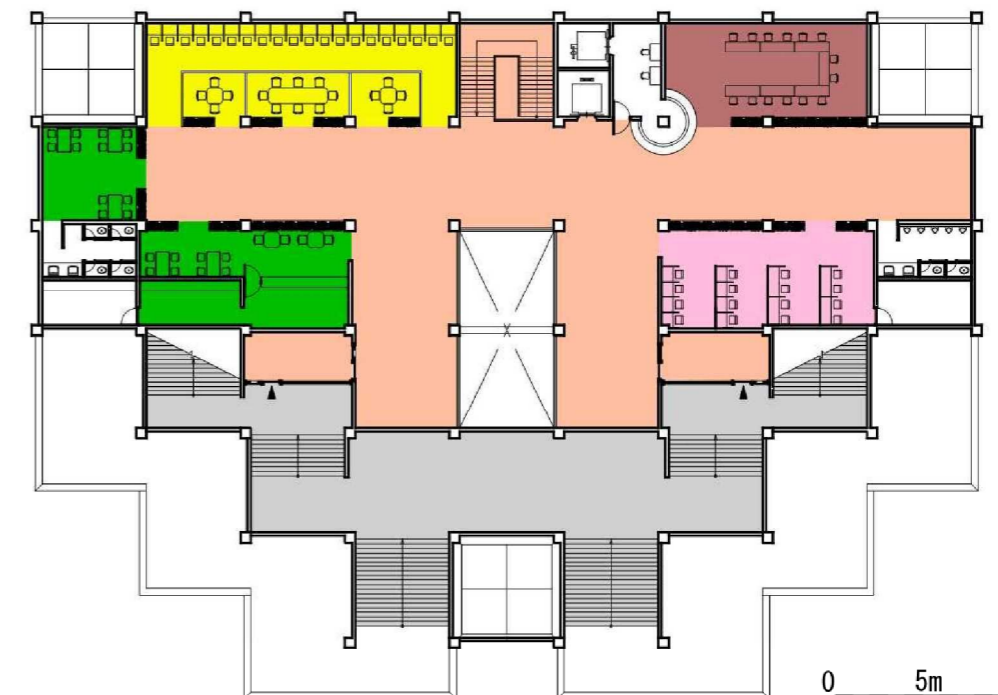
静岡県は、激しい気温差や降雪がなく、全国的に見ても気候が安定していることで有名である。また、自然豊かなところも良いところである。このような場所に、内部空間だけを充実させた図書館を建てるのは、もったいないと考えた。そこで、静岡県にしかできない、静岡県だからこそ生み出せる、落ち着きの空間を目指し、屋外閲覧エリア（テラス）を設けた。緩勾配の階段に座って読み、そして屋上まで行ってからまた読む。まるで公園で読んでいるように自分で居心地の良い場所を選び、読書に没頭することができる。静岡県の特性を生かし、利用するすべての人が落ち着ける場所とした。



1階平面図

2階平面図

- 出入口・通路・フリーエリア
- エチケットエリア
- レファレンス
- 一般開架
- 会議室
- 児童開架
- AVコーナー
- ブラウジング
- カフェコーナー
- 屋外閲覧エリア・屋上へ続く

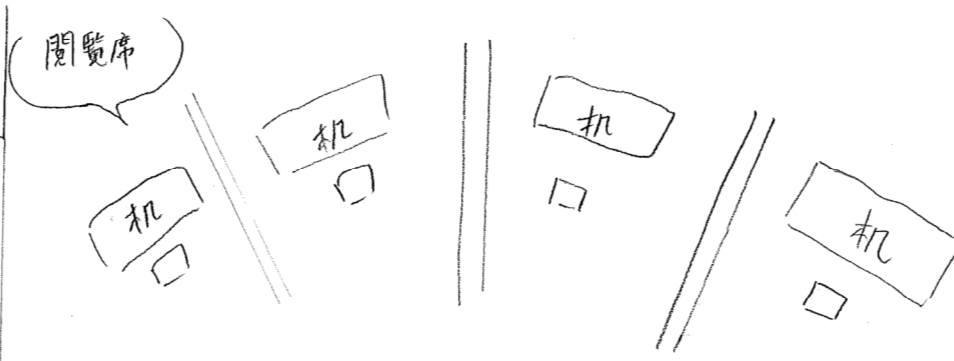


0 5m 10m

『人と本が交わる場』

「詳細説明」コンセプト

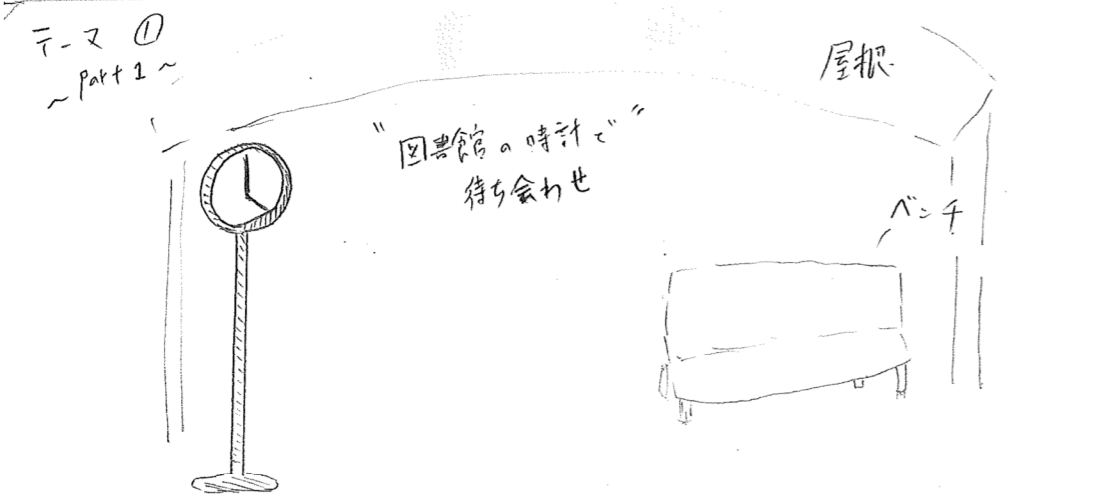
ウイルス対策、アタコトでリアルな人の関わりが減っている人も多いと思う。感染対策はもちろん、図書館である以上、本を不特定多数の人が見ることが変わらぬと思う。物を介した感染が起きないか分らないが、利用をさせる人も多いかも知れない。そこで、図書館を従来の機能に加えて、気軽に誰でも利用できる環境を作ってみることにした。現在、図書館の設備を多岐とすると、若者の読書離れが少なくなるかもしれない。



若干円形を描くか、壁か、板を設置
閲覧席にはPCやスマホも利用できるように電源、卓上ライト、足元の暖房(冬)があたらしいな...と思う。

「6つのテーマ」

- ここに居たいと思える場所**
今ある設備をもっと快適にすること、旧中居る空間、駅に近い人々の集まる場所になるようなスペース、会話しながら飲食もでき、本を見ることが出来るような場所。また、年齢別に図書館を利用しやすい環境をこころ、本離れを防ぐ。
- 本の魅力を引き出す工夫**
日本最大級の蔵書となるの、それだけ情報にあふれている場所になる。有名な作家の本から、国産の作家の本まで幅広い年齢を対象にした本がある。あまり知られていない本などを世に広げるような展示や作家の紹介など本にまつるイベントができるような場所を作る。
- 情報資源の拠点**
映像が見れる所や、実物展のスペースを定期的に作る。タブレット端末を使用した調べる機会を増やす取り組みをする。法情報や健康医療情報、議会や行政の情報を知れるスペースがあると、立地的にも便利。子育てに図書館前窓口は子育て支援には利便性がある。
- 「ふじのくに」を矢の先場所**
前身である「ふじのくに」の歴史を伝える。また、静岡県内の歴史に特化したエリアを設けることで、様々な世代が歴史を知ることが出来る。歴史をデジタル化した上で、多量のデータや、より深く調べたいことを簡単に調べられると思う。
- 創作活動、研究ができる場所**
図書館内を一般エリアと研究エリアに分ける。一般エリアの一部は読書スペースを作る。芸術系、アトリエのようなスペースを作る。子供向けスペースも乳幼児向けと、小学生向けで分けて作る方が良さそう。大人向けの講座室や、グループで使用する会議室もあるといいと思う。一般の人々も入る書庫も必要そう。
- 文化交流の場所**
立地がJR東静岡駅南口、駅前という人が多く集まる場所という点を利用する。Book Cafeの設置も気軽に本に近づく機会になると思う。また、本以外のコンテンツを置くことで様々な文化交流の場になる。定住外国人の方や他国を特集した展示の充実をはかる。



今までと同じような設備

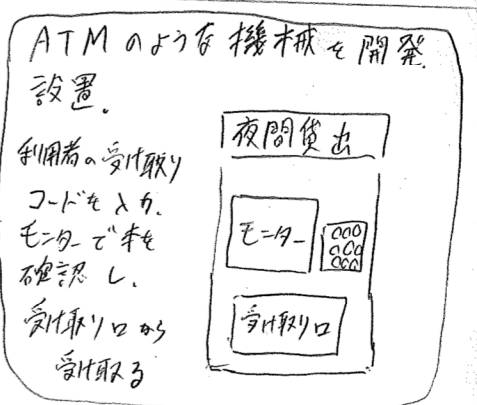
- 児童室
- 自習室 (個人、グループ)
- 飲食可能な部屋 (本の持ち込みは考える)
- 案内図 (子供にも分かりやすく)
- カウンター
(借りる所と返す所と分ける。
・コトのため、消毒が必要だと思うから。
・分けてある図書館が使いやすかったから。
- 個人用端末
(台数を増やすのと、様々な所に置けば
・密を防げる
・消毒を自分でしてもらうor消毒する人を作る)
- 公開書庫
・エリア別でたな。高さ
(
・子供向け (乳幼児~小学生)
・子供向け (中・高)
・大人向け
・年齢の方向け
・自動貸出処理の機械
(
・今まで以上の数を増やす
・分かりやすい操作の工夫を)

年代別

- 乳幼児・児童
 - ・おはなし会
 - ・児童室
 - ・いすやソファにして、親子共に過ごしやすい
 - ・独立したスペース作り、会話OKな場所をつくる
 - ・子供読書研究室
- ティーンズ世代
 - ・読書も探してくれるようなテーマ展をやる
 - ・マンガ本を置く
 - ・紙の本離れが多いから、読書離れを招かない。デジタル化はいい!
 - ・課題を助けるような本を置く
- 学生・留学生
 - ・自習室 (冷暖房完備)
 - ・海外の文化などの展示
 - ・留学生と市民の交流の場 (留学生だけでなく在留の外国人とも)
- 高齢者世代
 - ・講座
 - ・活字本
 - ・コミック、シニア向けの充実、いすの手すりなどの工夫
- 社会人
 - ・専門的な資料をそろえて、分かりやすく置く
 - ・生涯学習コーナー

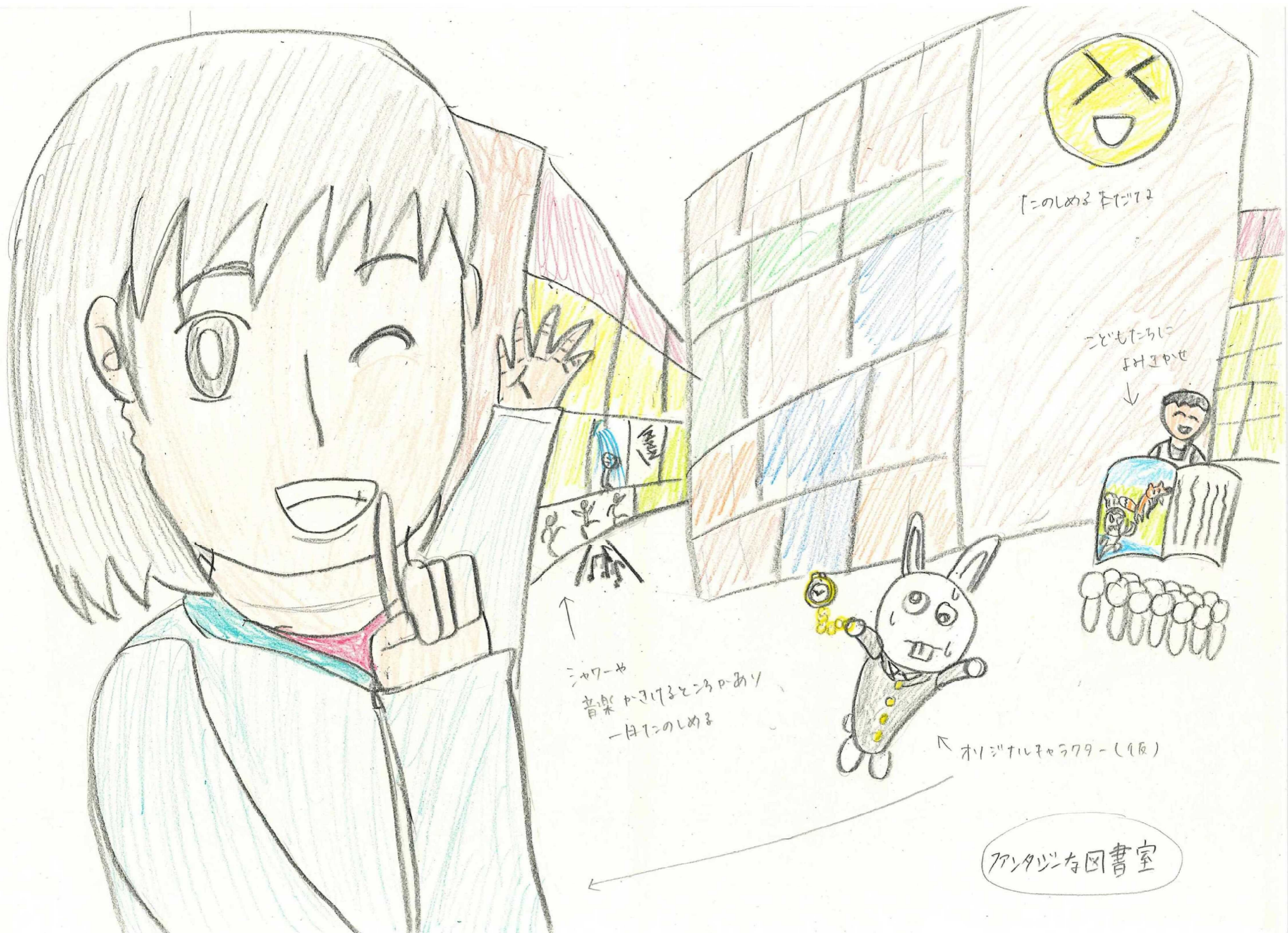
コロナと共存

- 貸し出しと返却を自動化する
- ICタグ、盗難防止の対策
- ① 夜間の貸し出しシステムを作る
 - ・ドライブスルー図書館
- ② 取り置きBOX
- ③ 電子図書館の充実
 - ・予約書の時間外貸し取り



紙の本を所蔵するのに比べて印刷の人もいないと思う。コロナで読む本が減った人々も増えてスマートフォンやパソコンで見られる時間がある人、若者の読書離れをくい止めることが出来ると思う。





7 ファンタジーな図書館 / 掛川和馬 (浜名特別支援学校)



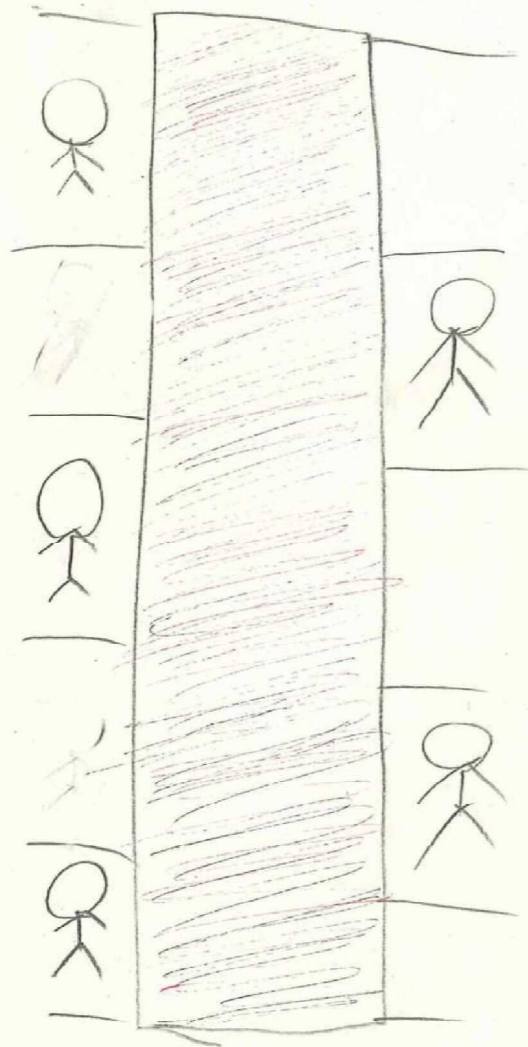
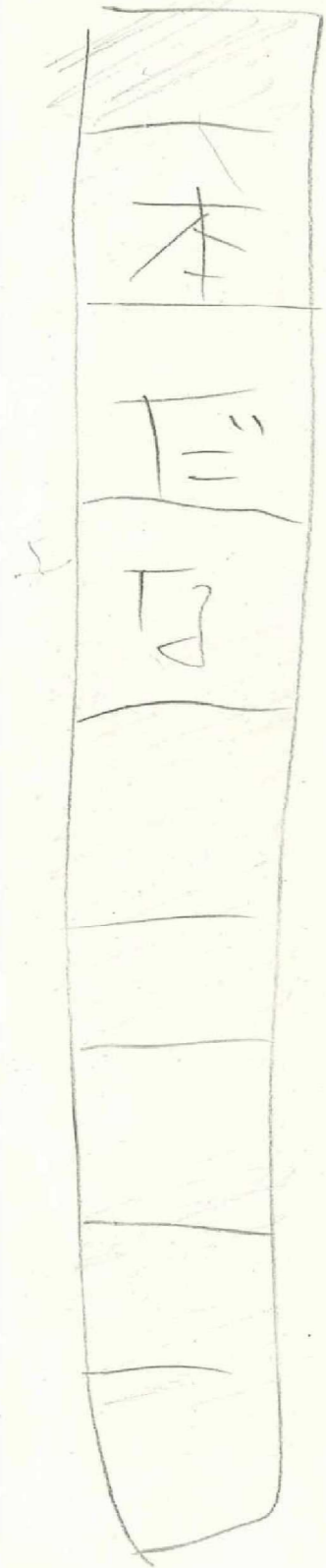
図書コーナー
新たな世界広がって
人も集まる、笑顔も増える

ザ・ニュー・ライブラリー

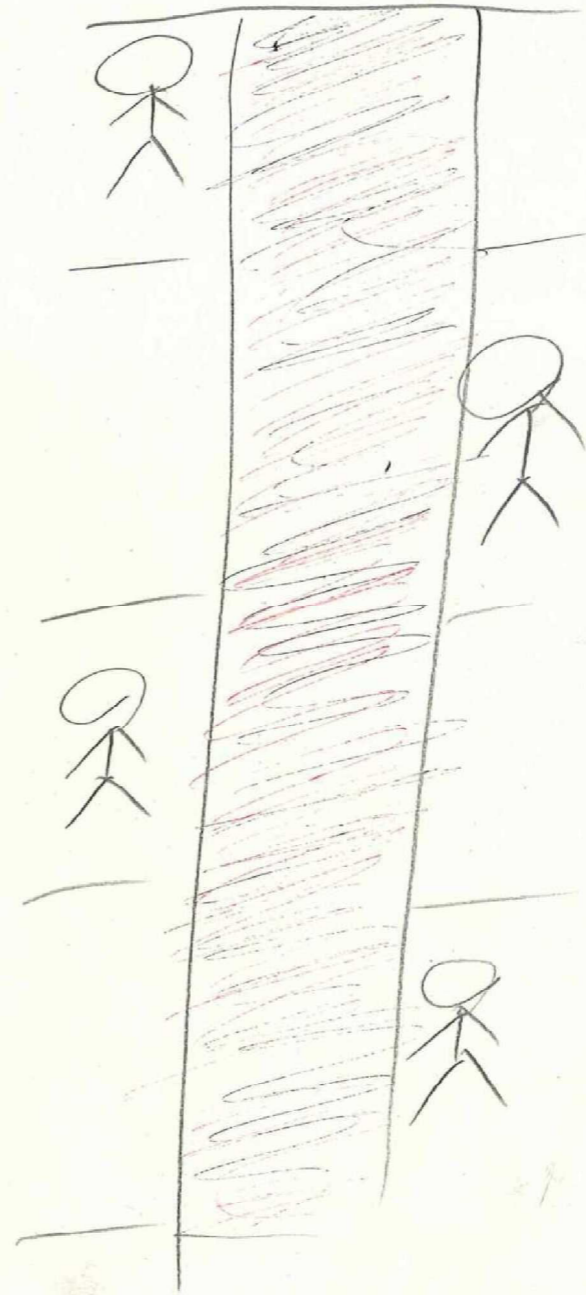
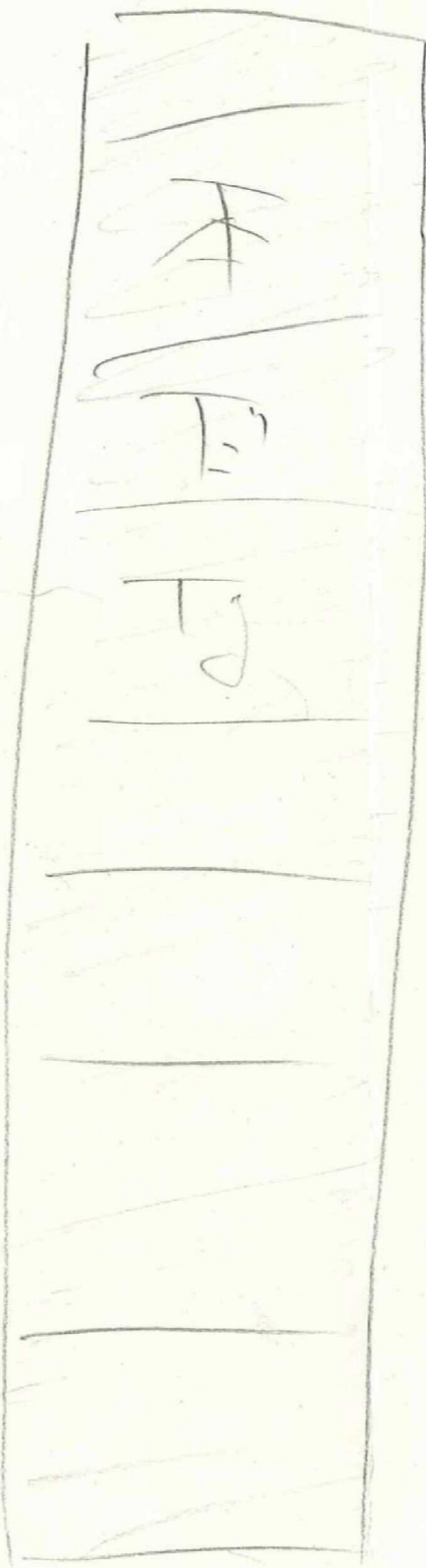
かんき
まど

テーマ. かんきをこまめにしてくる図書館
横の人と、きよりをあげよう。

かんき
まど



かん
まど



かん
まど

